

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は 2016 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、(公社)日本マスターズ陸上競技連合競技規則、第 15 回東海マスターズ陸上競技選手権大会実施要項及び本競技注意事項に基づき実施する。

2 選手の招集について

- (1) 招集場は本競技場の 100m スタート付近の正面スタンド下の器具庫に設ける。招集時間は、トラックは 40 分前に開始し 20 分前に終了する。フィールドは 50 分前に開始し 30 分前に終了する。
- (2) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし出場を認めない。
- (3) 他種目に出場する等、特別な事情により招集時刻に招集の手続きができない競技者は、招集開始時刻以前の招集を認めるので、招集所にその旨申し出ること。
- (4) ナンバーカードのない競技者は出場できない。ナンバーカードは、胸、背各部に確実に取り付けること。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸部もしくは背部のいずれかでもよい。但し、走幅跳・三段跳は胸部には必ず付ける。ナンバーカードは大会当日会場選手受付にて交付する。競技終了後に同受付に必ず返却すること。

3 競技について

(1) トラック競技

- ①複数組ある種目の競技順はプログラム記載順とする。
- ②全て写真判定装置を使用する。ただし、不測の事故等で写真判定ができない場合は、手動計時を行うことがある。
- ③レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ④800m 以上の競技はオープンレーンスタートとする。
- ⑤400m 以下のレースでスターティングブロックを使用できない競技者は競技役員に申し出ることにより、これを使用しないことを認める。
- ⑥短距離競走では、安全のために競技者はフィニッシュラインを通過後も割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑦リレーについて、年齢の高い競技者が低いクラスの走者となることができる。リレー代表者は、競技者係からリレーオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入の上、競技開始時刻の 1 時間前までに競技者係へ提出すること。

(2) フィールド競技

- ①試技順は全種目ともプログラム記載順とする。競技時間中に他の競技に出場する競技者は、競技主任に申し出ること。この場合、当該競技を優先し試技順を適宜変更するが、他の競技出場中に失った試技を要求することはできない。
- ②走高跳のバーの上げ方は別表3の通り。但し、競技者の能力等の状況により、競技主任の判断で練習時と競技最初の高さを変更する場合がある。
- ③棒高跳のバーの上げ方は別表4の通り。但し、競技者の能力等の状況により、競技主任の判断で練習時と競技最初の高さを変更する場合がある。
- ④三段跳の踏切の位置は、5 m、7 m、9 m、11 mとする。競技者は、自己の踏切位置を事前に競技役員に申し出ること。

4 その他

- (1) 競技中に起きた競技者の行為又は順位に関する抗議は、競技の記録発表30分以内に総務員に口頭で行うこと。
- (2) 上訴審判員に上告する場合は本人又は本人に代わる責任ある役員が署名した文書に供託金1万円を添えて提出する。この供託金は抗議が受け入れられなかったときは返却されない。
- (3) 岐阜マスタース陸上競技選手権大会の表彰は行わない。
- (4) スタンドは、全て使用できるが、各自の出したごみは持ち帰ること。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行うこと。遺失物について、大会開催中は本部の庶務係で、大会終了後は岐阜マスタース陸上競技連盟事務局で、保管する。
- (6) 全ての競技記録は、招集所付近のボードに掲示する。
- (7) 競技用具等について
 - ①ハードル競走の種目別基準は別表1の通りとする。
 - ②投てき競技用具の使用基準（重量）は別表2の通りとする。
- (8) カメラ・ビデオで撮影を希望する場合は、許可制とする。1階玄関で受け付ける。岐阜陸協の許可シールを100円で購入し表示すること。

別表1 ハードルの使用基準

性別	クラス	種目	高さ (cm)	台数	第1H まで(m)	間隔 (m)	フィニッシュ まで(m)
男子	M24-~M45	110mH	99.1	10	13.72	9.14	14.02
	M50・M55	100mH	91.4	10	13.00	8.50	10.50
	M60・M65	100mH	84.0	10	12.00	8.00	16.00
	M70・M75	80mH	76.2	8	12.00	7.00	19.00
	M80・M85	80mH	68.6※	8	12.00	7.00	19.00
女子	W24-~W35	100mH	84.0	10	13.00	8.50	10.50
	W40・W45	80mH	76.2	8	12.00	8.00	12.00
	W50・W55	80mH	76.2	8	12.00	7.00	19.00
	W60~W75	80mH	68.6※	8	12.00	7.00	19.00

※68.6cmは小学生用70.0cmのハードルで代用可

別表2 投てき競技用具の最小重量基準

性別	クラス	砲丸 ハンマー (kg)	円盤 (kg)	やり (g)
男子	M24-~M45	7.260	2.0	800
	M50・M55	6.0	1.5	700
	M60・M65	5.0	1.0	600
	M70・M75	4.0	1.0	500
	M80~	3.0	1.0	400
女子	W24-~W45	4.0	1.0	600
	W50~W70	3.0	1.0	500
	W75~	2.0	0.75	400

別表3 走高跳のバーの上げ方基準

性別	クラス	練習の高さ (m)	開始の高さ (m)	上げ幅 (m)
男子	M24-~M35	1.35	1.40	0.05刻み
	M40・M45	1.25	1.30	
	M50	1.20	1.25	
	M55	1.10	1.15	
	M60・M65	1.00	1.05	
	M70	0.95	1.00	
	M75	0.85	0.90	
	M80~	0.75	0.80	
女子	W24-~W30	1.20	1.25	0.03刻み
	W35	1.10	1.15	
	W40	0.95	1.00	
	W45・W50	0.85	0.90	
	W55・W60	0.80	0.85	
	W65~W75	0.70	0.72	
		W80~	0.60	

別表4 棒高跳のバーの上げ方基準

性別	クラス	練習の高さ (m)	開始の高さ (m)	上げ幅 (m)
男子	M24-~M35	2.60	2.70	0.10刻み
	M40	2.40	2.50	
	M45	2.30	2.40	
	M50	2.10	2.20	
	M55	1.90	2.00	
	M60	1.70	1.80	
	M65	1.60	1.70	
	M70	1.50	1.60	
		M75~M90	1.40	1.50
女子	W24-~W35	1.60	1.70	0.10刻み
	W40	1.50	1.60	
	W45	1.40	1.50	
	W50・W55	1.30	1.40	
		W60~W80	1.20	1.30